

一関工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	地域創造学							
科目基礎情報												
科目番号	0017		科目区分	専門 / 選択								
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1								
開設学科	未来創造工学科 (化学・バイオ系)		対象学年	4								
開設期	後期		週時間数	2								
教科書/教材	各回とも独自教材を配布											
担当教員	照井 教文, 戸谷 一英											
到達目標												
【教育目標】 C,D,E 【教育到達目標】 C-3, D-2, E-2 テーマ「地域課題を通じて国際的に医理工連携を推進できるグローバルリーダーを育成」 ① 地方創生戦略としての医理工連携を推進できる実践的エンジニア ② 理工学と医学的見識を融合させ、国際競争のトレンドに対応できる開発戦略の設計能力を育成 地域のスタートアップ企業とともに医理工連携講座（共同講座）を開設し、第一線の研究や各界のフロントランナーの講演を通して臨床検査医学や医療機器開発に必要な学術基礎を学ぶ。スタートアップ企業における研究開発とは何かを学び、共同講座を通じてイノベーションや起業マインドを醸成し進路選択の参考にする。必要な先行技術調査方法（特許検索）についても学ぶ。												
ルーブリック												
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安							
課題解決のための学術的な基礎を学ぶ	地域スタートアップ企業の製品開発のための学術的な基礎を理解している		必要な学術課題を概観することができる		必要な学術課題の実情を把握できていない							
グループワーク	多様なメンバーのコメントを引き出しつつ、チーム独自の見解をまとめることができる。		多様なメンバーのコメントを引き出して、チームの見解をまとめることができる。		多様なメンバーのコメントを引き出すことができない。また、チームの見解をまとめることができない。							
スタートアップ企業の課題について、問題解決能力を育成すると共に、創造性を発揮する	課題について、問題解決能力を育成すると共に、創造性を発揮することができる。		課題を把握し、問題解決能力を発揮することができる。		課題について、問題解決能力を育成すると共に、創造性を発揮することができない。							
学科の到達目標項目との関係												
教育方法等												

		12週	【1/25(水)】TOLICカンファレンス in 一関（3・4校時）（異分野融合）	講演会を聴講し、withコロナ時代に求められる「起業マインド」について考える。 【個人報告書2】
		13週	【1/30】講演9 医理工連携アプローチ	パンデミックの歴史を学ぶ 【課題】【個人報告書1】
		14週	【2/15(水)】地域企業情報交換会 in 一関（2月15日(水)）	一関市内会場で企業展示ブースの見学
		15週	【2/20(月)】知財教育、特許・商標検索	特許検索競技大会 サテライト開催
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる		